

# 令和4年度 数学科 新年度計画(重点目標・実践事項・各科目の目標)

## 《数 学》

### 1. 重点目標

- (1) 数学的な見方・考え方の有用性を気づかせ、自ら進んで活用する態度を育成する。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を行う。

### 2. 実践事項

- (1) 習熟度別授業を展開し、習熟度別授業の有意性・改善点を常に検討する。
- (2) 学校設定科目について、進路実現のために必要な力をつけることができるよう、授業の在り方等を検討する。
- (3) 小テスト・演習等を活用し、全体的な学力向上を図る。

### 3. 各科目の目標

#### (1) 1年次

##### ○数学ⅠA

数と式、二次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

#### (2) 2年次

##### ○数学Ⅱ

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数および微分・積分の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

##### ○数学B

数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

##### ○探究数学

これまでに学習した数学Ⅰを基礎として、特に二次関数と図形と計量について、やや複雑化した事象を数学的に捉え、見通しを立てるとともに、論理的に表現し、他者に説明しようとする態度と能力を育てる。

#### (3) 3年次

##### ○数学Ⅲ

平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する能力を育てる。

##### ○応用数学Ⅰ

数学Ⅰ・数学Aのそれぞれについて、さらに発展的な知識の習得と技能の習熟を図ることによって、事象を多面的に考察し、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。

##### ○応用数学Ⅱ

2年次までに学習した数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学Bの内容をもとにして、数学Ⅱと数学Bの内容の融合問題などに取り組むことによって、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばし、それらを活用する態度を育てる。

##### ○基礎数学

1年次に学習した数学を基礎として、基本的な問題を考察を通して、公式の成り立ち、数学的な見方・考え方の良さについての理解を深化させ、高校卒業後も社会人として有用な数学的思考と能力を育てる。

##### ○実用数学

これまでに学習した算数・数学を基礎として、やや複雑化した事象を数学的に捉え、見通しを立てるとともに、論理的に表現し、他者に説明しようとする態度と能力を育てる。